

令和2年度 和歌山県立那賀高等学校 第2回学校運営協議会 議事概要

1 日 時 令和2年11月30日（月）15:00～17:00

2 会 場 那賀高等学校 応接室及び体育館

3 日程及び概要

（1）開 会 （応接室）

（2）校長あいさつ

（3）会長あいさつ

（4）事前打合せ

（5）教職員のための校内研修 （体育館）

形式：本校教員を集めてパネルディスカッション

コーディネーター：本校学校運営協議会会長

パネラー：学校運営協議会委員3名（有識者、保護者代表、地域代表）、校長、本校教員2名

設定理由

現代社会で求められる力は「生きる力」であり、教育目標はこの「生きる力」を構成する諸要素の集合で作られる。学校の教育目標達成のために、それぞれの教育活動や教科指導をいかに組み合わせ構造化していけるかである。

【問1】

- ・学校における教育目標とはどのような意味を持つか？
- ・一般的に那賀高校がどんな生徒を育てようとしているか知っているか？

○以前中学校の校長として勤務していた学校の経験として、教育目標を分かりやすくすると、それぞれが具体的に理解できて共有化が図れた。

○教育目標は意識している。真似から入って積み重ねて具現化を図っている。

○この教育目標は教師にも当てはまる。意識して教育活動を行っている。

○保護者から見て、文化祭や体育祭等は自分たちで考えて作り上げてきたと子供たちから聞いている。(今年は文化祭や体育祭等はコロナ禍で保護者が観覧できなかったのが残念)

○那高は地域と繋がろうと考えている。小学生学習支援ボランティアや岩出駅に座布団を贈るなど、これからも心優しい生徒を育てて行って欲しい。

○以前文部科学省の教育調査官から「教育目標というのはできる限り具体性をもって設定しなければならない」という話を聞き、本校はみんなが理解できる目標にしようと思った。

○那賀高校の教育目標は具体的な目標なので、生徒・職員もきちんと意識化されていることに感心した。



【問2】

- ・本年度の運営方針である「教育目標」の実現につながる学校運営とはどのようなことか？
- ・那賀高校が目指す教育を実現するためには、どんなことをすれば良いと考えるか？

○例えば「国際科」や「総合的な探究の時間」等の重点化されている分掌があり分かりやすい。各教科の目標は明確であるが、各科目でどれだけ共有できているかが見えない。前向きな話し合いができれば良いと思う。

○純粋な生徒が多い。魅力のある生徒が多い。生徒はスポンジのようにどんどん吸収することができる。

○保護者として満足しているが、子供たちは自ら律して「鍛える」部分に弱さがある。人としての幅を那高生活の中で身につけていって欲しい。

○先生は子供を育てようと頑張ってくれている。

○以前中学校の校長として勤務していた学校の経験から、学校を立て直して次のステージに進むとき、新たな目標を立てて、その目標に向かって職員と話し合いながら共通理解を図ることで、学校全体の推進力に繋がった。

○生徒の検証について、テストの成績等は数字が出るが、「地域貢献」についての検証などはきちっとした数字が出ないので検証はきわめて困難である。

【問3】

- ・今後、教育目標の実現という観点で評価できる点、課題と思う点、実現に向けて必要だと思う点は何か？
- ・那賀高校がよりよい教育を行っていくためにどのような観点が必要か？

○私は時間を作ってでもみんなと本校について前向きな話をしていきたい。

○生徒に対して、失敗してもへこたれない積極性を持って欲しい。

○生徒はもっと自己肯定感を高く持ち、先生と徒生の信頼関係をより一層深めて欲しい。

○これからも今までどおり、地域と繋がっていて欲しい。

○以前キャリア教育支援授業に参加したが、生徒の「那高に満足している。」という感想を聞いて、先生は生徒の将来に繋がるような教育を準備してくれていると感じた。先生方皆さんは誇りを持って欲しい。

まとめ：3年間学校運営協議会に携わって、那校はいい学校だと確信した。教師は教育目標をきちっと把握しながら教育活動を行っている。このような学校は他に多くない。これまでどおりやって欲しい。

先ほどジグソーパズルで例えた話であるが、1つの教育活動は太平洋の1ピースで、それ自体見えにくいかもしれないけれど、1つ1つが意味を持っているんだと意識して欲しい。

(6) 振り返り (応接室)

○全教職員が前を向いて取り組んでいることが肌で感じた。

○とてもよい研修になった。

(7) 閉会

